

▼チニダゾール錠 [内]・▼チニダゾール膣錠 [外]

【重要度】 【一般製剤名】チニダゾール Tinidazole 【分類】抗トリコモナス剤

【単位】▼200mg・▼500mg/錠, ▼200mg 膣錠

【常用量】トリコモナス症（膣トリコモナスによる感染症）

1クール1回200mg, 1日2回, 7日間

または2000mgを1回

再検出後は1週間程度の間隔をおいて再投与

■膣錠

1クールとして1日1回200mgを7日間膣内に挿入

再検出後は1週間程度の間隔をおいて再投与

【用法】

【透析患者への投与方法】常用量（Robson RA, et al: Clin Pharmacokinet 1984 PMID: 6692632）

【保存期CKD患者への投与方法】常用量（Robson RA, et al: Clin Pharmacokinet 1984 PMID: 6692632）

【特徴】メトロニダゾールと類似構造を有し、アメーバ症、ジアルジア症、トリコモナス症に有効。

【主な副作用・毒性】皮膚障害、消化器症状、頭痛、尿着色など

【安全性に関する情報】

【吸収】速やかに吸収（1）

【F】

【tmax】1.5～4.5hr（1）

【代謝】ニトロ基転移、水酸化、グルクロン酸抱合体を受ける（1）

【排泄】尿中にチニダゾール、2-hydroxymethyl体、そのグルクロン酸抱合体として21～48%（1）

【Cl】35mL/kg/hr（1）

【t1/2】15hr（1）腎不全時18hr（Robson RA, et al: Clin Pharmacokinet 1984 PMID: 6692632）

【蛋白結合率】

【Vd】0.65L/kg（1）

【MW】247.27

【透析性】6時間HDで投与量の43%が透析され、血漿クリアランス 50mL/min（1）

【OW係数】

【肝障害患者への投与方法】

【小児CKD患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】20250508

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。